

日本留学試験対策問題集

ハイレベル

総合 科目

改訂 第二版

Japan and the World

伊佐治康成・著

(東京日本語教育センター講師)

地理

歴史

現代の
経済

現代の
政治

現代の
国際社会

現代の
社会

別
冊

練習問題 (過去問)

模擬試験 (2回分)

復習に便利な「赤シート」付き

「重要用語リスト (訳付き)」は
ウェブサイトより無料ダウンロード



日本留学試験対策問題集

ハイレベル

総合 科目

改訂 第二版

Japan and the World

伊佐治康成・著

(東京日本語教育センター講師)

地理

歴史

現代の
経済

現代の
政治

現代の
国際社会

現代の
社会

はじめに

総合科目とは

「総合科目って何を勉強するんだろう?」。きっと留学生の皆さんは疑問に思うでしょう。これは、留学生の皆さんが日本の大学で学ぶための基本的な知識や、世界と日本とのさまざまな問題について考える力を身につけるためのものです。そのために、地理・歴史・経済・政治・国際社会・現代の社会といった広い分野の学習が必要になります。

どのように学習したらよいか

実際に、このようにたくさんのことを学習するのは大変です。どこから何を学習したらよいかもわからないでしょう。そのために、この本があります。この本は、総合科目の学習内容（シラバス）と、日本留学試験が始まった2002年から2018年現在までに出版された過去問を研究し、つくられました。試験によく出題される内容が中心になっているので、効率的に学習ができ、試験でも十分に高得点がとれるようになっています。ただ、用語を覚えるだけでは、なかなか得点できません。用語の意味はもちろん、内容をしっかりと理解することが必要です。そのためには日本語の力も高めておくことが大切です。

- ① 興味のあるところから始めよう 最初のページから順序よく学習する必要はありません。まずは、留学生の皆さんが興味を持てるところから始めるのもよいでしょう。その方が、スムーズに学習できます。
- ② くり返し読もう 文章は一回読んだだけでは、理解できません。日本語の練習だと思って、理解できるまで何度もくり返し読みましょう。
- ③ グラフ・表・地図にも注目 グラフや表、地図にも注目しましょう。実際の試験問題でも、グラフや表、地図がたくさん使われています。本文を読みながら、グラフや表の意味を考えることが大切です。国や都市の位置も地図で確認するようにしましょう。
- ④ 問題を解こう 章ごとに練習問題があります。説明を読んだら、必ず問題を解いてみましょう。いくら覚えたつもりでも、試験の問題が解けないのでは、意味がありません。そして間違えたら、もう一度説明を読んで、どうして間違えたのか考えてみましょう。学習→問題→学習→問題をくり返すことで、確実に実力がついてくるはずです。
- ⑤ 最後に模擬試験にチャレンジ 最後に一通り学習が終わったら、本番の試験のつもりで模擬試験に挑戦してみましょう。ここでも間違えたらそのままにせず、しっかりと確認するようにしましょう。

改訂第二版について

日本の高校で教える授業の目標や大まかな教育内容が新しいものになったため、日本留学試験の「総合科目」で学習する内容（シラバス）も一部改訂され、2016年度の出題から改訂後のシラバスが適用されています。

日本留学試験 総合科目 シラバス改訂一覧

		新しく追加された項目	項目を細かくしたもの、 項目名を変えたもの
政治・経済・社会	現代の社会	社会保障、地域社会の変貌、食料問題、エネルギー問題、環境問題、持続可能な社会	なし
	現代の経済	消費者、労働問題	市場経済、価格メカニズム、政府の役割と経済政策、貿易、為替相場、国際収支
	現代の政治	議会制民主主義、地方自治、新しい人権	日本国憲法、基本的人権と法の支配、国会、内閣、裁判所
	現代の国際社会	国際関係と国際法、日本の国際貢献	人種・エスニシティ・民族問題
地理	現代世界の特色と諸課題の地理的考察	世界の生活・文化・宗教、自然環境と災害・防災	都市・村落、日本の国土と環境
歴史	近代の成立と世界の一体化	なし	なし
	20世紀の世界と日本	日本の戦後史	なし

これに合わせて、『日本留学試験対策問題集 ハイレベル 総合科目』も2017年4月に改訂。この度の第二版では統計のデータや内容を更新し、別冊の模擬試験も1回から2回に増やしました。

“苦あれば楽あり”という言葉があります。苦しいことの後には、楽しいことが待っているという意味です。苦しい試験勉強を乗り越えた後には、志望大学への合格が待っていると信じて、最後まであきらめずにがんばってください。留学生の皆さんの夢が実現できるよう願っています。

2019年9月
伊佐治康成

この本をお使いになる皆さんへ

①本の構成

この本は、Ⅰ地理、Ⅱ歴史、Ⅲ現代の経済、Ⅳ現代の政治、Ⅴ現代の国際社会、Ⅵ現代の社会の6つの分野からなっており、全部で44章あります。
別冊には、章別の練習問題（過去問題）と、模擬試験2回分があります。

②赤字の用語は重要

大切な用語は赤字になっています。付属の「赤シート」をかぶせればその部分は見えないので、復習に使ってください。前後の文章からどのような用語が入るのか考えてみましょう。

③参照もチェック

同じ用語がさまざまな分野に出ていることがあります。さまざまな個所に出てくるということは、それだけ重要な用語だということですし、関連付けながら学習することで内容をしっかりと理解することができます。本文中に（☞ p. 203）のように参照ページが示してあります。本の最後にある索引も利用してみましょう。

④囲みも重要

囲みで説明しているところは、本文中の説明には入れられなかった重要なことを取り上げています。

⑤重要用語リスト

「重要用語リスト」は、下記サイトからダウンロードしてお使いいただけます。
英語・中国語・韓国語・ベトナム語の訳が付いています。

<https://www.ask-books.com/eju/>

⑥何度も学習

説明は、理解できるまで何度もくり返し読みましょう。目次（p.6～p.10）の章ごとに「チェックBox」があります。学習が終わったら、☑のようにチェックを入れましょう。

1 民主主義の基本原則

1 国家

政治と国家

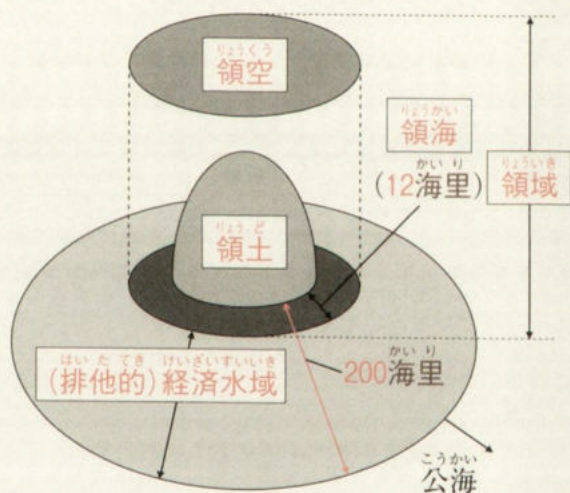
▶ 政治の役割 政治の役割とは、①国民の安全を守り、**平和**の実現をはかること、②教育・文化の向上や産業の育成、社会福祉といった**公共**の利益を充実させることである。こうした役割を果たす政治の場が、**国家**や**地方公共団体**（**地方自治体**）（p. 203）である。

▶ 政治権力 政治には、政策を実行するために人々を従わせる政治権力が必要である。そのために国の基本法である憲法やさまざまな法律がある。警察や軍隊、裁判などで従わせるのは最後の手段でなければならない。

国家の三要素

国家は、**主権**（国家の政治のあり方を決め、それを実行することができる力）、**領域**（主権の及ぶ範囲）、**国民**の3つの要素からなる。主権が国民にあることを**国民主権**という。また、領域は**領土**・**領海**・**領空**からなる。

領土	領域の中の陸地部分
領海	領土から12海里 (1海里 = 1852m)
領空	領土・領海の上空



【排他的経済水域 (EEZ)】

沿岸国が漁業資源や資源開発などについての権利をもつ水域のこと。国連海洋法条約によって、海岸線から200海里（約370km）までとされている（ただし、領海は除く）。

目次

I 地理

- 1 地球儀と地図 12
 ①地球のすがた ②標準時と時差 ③距離と方位
 ④空中写真と衛星画像 ⑤地理情報
- 2 世界の地理的環境 16
 ①世界の地形 ②世界の気候 ③世界の植生
- 3 世界の国々 23
 ①世界の国々 ②ヨーロッパの国々
 ③北アメリカ・南アメリカの国々 ④アジア・オセアニアの国々
 ⑤アフリカの国々
- 4 世界の資源と産業 31
 ①世界の産業 ②世界の資源とエネルギー ③世界の交通と通信
- 5 人口と都市・村落 43
 ①世界の人口 ②世界の都市・村落
- 6 世界の生活・文化・宗教 48
 ①衣食住 ②言語と宗教
- 7 自然環境と災害・防災 55
 ①世界の異常気象 ②自然災害 ③防災
- 8 日本の国土と環境 60
 ①日本の国土 ②日本の環境と気候
- 9 日本の産業と貿易 67
 ①日本の産業 ②日本の貿易 ③日本の交通・通信

II 歴史

- 1 市民革命と産業革命 76
 ① イギリスの市民革命 ② アメリカ独立革命 ③ フランス革命
 ④ 産業革命
- 2 国民国家の形成 83
 ① ウィーン体制 ② ウィーン体制の動揺と崩壊
 ③ ヨーロッパ世界の再編 ④ アメリカ合衆国の発展と南北戦争
- 3 帝国主義と植民地化 92
 ① ヨーロッパ諸国のアジア侵略 ② 帝国主義時代の欧米列強
- 4 日本の近代化とアジア 96
 ① 日本の近代化 ② 日本のアジア進出
- 5 第一次世界大戦とロシア革命 99
 ① 第一次世界大戦 ② ロシア革命 ③ 第一次世界大戦後の国際関係
 ④ 第一次世界大戦後の欧米諸国 ⑤ 第一次世界大戦後のアジア諸国
- 6 世界恐慌から第二次世界大戦へ 105
 ① 世界恐慌 ② ファシズムの台頭 ③ 第二次世界大戦
- 7 冷戦と現代の世界 110
 ① 冷戦体制の構築 ② 冷戦体制下の対立
 ③ アジア・アフリカ諸国の独立 ④ 石油危機 ⑤ 冷戦体制の崩壊
 ⑥ 日本の戦後史
- 世界の主なきこと 119

III 現代の経済

- 1 経済体制 122
 ① 資本主義経済 ② 社会主義経済 ③ 主な経済学説

□□	2	けいざいじゅんかん げんだい きぎょう 経済循環と現代の企業 127
		① 国民経済と経済循環 ② 現代の企業 ③ 株式会社
□□	3	しじょう かかく 市場と価格 130
		① 市場経済の仕組み ② 需要と供給の法則 ③ 価格メカニズム
		④ 需要曲線・供給曲線のシフト ⑤ 需要・供給の価格弾力性
		⑥ 市場の失敗 ⑦ 独占・寡占
□□	4	こくみんしょとく けい き へんどう 国民所得と景気変動 136
		① 国民所得 ② 景気変動 ③ 経済成長 ④ インフレとデフレ
□□	5	きんゆうせいさく 金融政策 142
		① 通貨 ② 金融 ③ 日本銀行と金融政策 ④ 今日の金融問題
□□	6	ざいせいせいさく 財政政策 146
		① 財政の機能と政策 ② 日本の財政構造
□□	7	にほんけいざい あゆ 日本経済の歩み 151
		① 第二次世界大戦前の日本経済 ② 第二次世界大戦後の日本経済
□□	8	にほんけいざい しょもんだい 日本経済の諸問題 163
		① 中小企業問題 ② 消費者問題 ③ 労働問題
□□	9	こくさいけいざい ほうえき かわせ 国際経済(1) — 貿易と為替 169
		① 貿易と国際収支 ② 外国為替相場 (外国為替レート)
□□	10	こくさいけいざい こくさいけいざい しく 国際経済(2) — 国際経済の仕組み 174
		① 国際通貨体制 ② 国際貿易体制 ③ 地域的経済統合
		④ 自由貿易協定と経済連携協定

IV げんだい せいじ 現代の政治

□□	1	みんしゅしゅぎ きほんげんり 民主主義の基本原則 184
		① 国家 ② 民主政治の成立 ③ 近代民主政治の基本原則